

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第109号 平成24年10月15日発行

(事務局)

〒802-0816 北九州市小倉南区若園2丁目6-21 ルミエール若宮101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 菅沼 一平

ホームページアドレス:<http://www.fuku-ot.org/>



特集 「手根管症候群に対する外来アプローチ」 ～前篇:発生機序とOT評価～

巻頭言 「医療制度改革の狭間で」

社団法人 福岡県作業療法協会 副会長 座小田 孝安

医療制度改革が進められようとする中、作業療法士が業務を行う精神疾患と認知症について大きな変革が行われる可能性が見え隠れしています。

2011年7月6日の厚生労働省社会保障審議会医療部会にて、医療制度改革で「4疾患（癌、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）・5事業」とされていた内容を「5疾患・5事業」に改められました。増えた疾病は「精神疾患」であります。医療計画では「患者数が多く、死亡率が高い」疾患とされていましたが、08年の調査で精神疾患は323万人で、年間3万人の自殺者の9割が何らかの精神疾患を患っていた可能性があり緊急性も高いと判断されました。これを受けて2013年以降の医療計画に反映されることになりました。

「5疾患」に位置づけられてから、医療部会や医療計画の見直しに関する検討会などで「精神疾患」に関する議論がされています。「精神疾患の医療体制の構築に係る指針」の骨子（平成23年12月16日）では目指すべき方向などが示されています。また、平成24年3月30日に厚労省から各都道府県に出された「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」では「精神疾患の医療体制の構築に係る指針」が示されています。最近では7月28日に「精神科への入院を原則1年以内に」などの方針が示され退院支援に当たる精神保健福祉士や作業療法士の配置なども検討されています。また、認知症のケアにおいても「今後の認知症施策の方向性について」（平成24年6月18日）が「厚生労働省認知症施策検討プロジェクトチーム」によって示されています。

皆さんも各資料に目を通していただきたいのですが、精神疾患・認知症ともノーマライゼーションの考え方が大きく反映されていると思われ、作業療法士の特性を生かせる地域生活への移行や生活を継続する支援が大きなテーマになっています。今後、医療制度改革の狭間の中で我々がその改革に対応していく準備が急務になってくると思われます。

会長行動（平成24年7月～9月）

- 7月 1日 大分県作業療法協会 創立30周年・公益社団法人認定記念式典 出席
場所:トキハ会館（大分市）
- 7月20日 平成24年度第1回福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会 出席
場所:吉塚合同庁舎
- 7月28日 都道府県作業療法士会連絡協議会役員会 出席
場所:日本工学院専門学校（東京都大田区）
- 8月 6日 平成24年度 第3回福岡県作業療法協会理事会 出席
場所:らそうむスポーツガーデン
- 8月10日 30周年・公益社団法人認定記念事業関係新聞広告記事 打合せ
場所:北九州市立総合療育センター
- 8月17日 30周年・公益社団法人認定記念事業関係新聞広告記事 対談取材
場所:小倉リハビリテーション病院
- 8月26日 現職者共通研修 講師
場所:小倉リハビリテーション学院
- 9月29日 福岡県作業療法協会 設立30周年・公益社団法人認定記念事業 出席
場所:八仙閣（福岡市）

「手根管症候群に対しての外来アプローチ」

—CTD・保存療法— 前篇：発生機序とOT評価

福岡豊栄会病院 井上 広昭

【はじめに】

当院は、週に2回、夜間診療（延長診療）を行っている。仕事を終えて来院する患者が多く、OTの対象疾患としては、手を頻繁に使う作業によって起こる蓄積性外傷（Cumulative trauma disorders;以下、CTDと略す。）の患者が数多く見受けられる。通常、2週間程度で治癒する状態であっても仕事の中の作業を避ける訳にはいかず、使用を繰り返し、状態が増悪するケース、さらに反対側や別の部位へと発展していくケースも少なくない。今回は、作業療法士として何が出来るか、CTDの中で最も頻発である手根管症候群（Carpal tunnel syndrome）について発生メカニズムを踏まえ、評価とアプローチの2回に分けて述べる。今回は、前編として発生機序・評価について述べることにする。

【蓄積性外傷（CTD）とは】

CTDとは、生活様式や職業、趣味などとの関係が深く、同じ動作の頻回な繰り返しや特定の肢位を長時間強いられることにより、軟部組織、特に筋、腱、神経にストレスが生じる障害をいう。さらに、血管系にも過剰な努力や過度の運動の繰り返しにより障害をきたす¹⁾。

診断名としては、手根管症候群などの絞扼性神経障害、ドケルバン病（de Quervain disease）、上腕骨外側上顆炎、腱鞘炎、筋膜性疼痛などがつけられる。

【手根管症候群の特性と臨床症状】

正中神経が、手根管で絞扼性障害を起こしたもので、圧迫性麻痺である。発症は40～60歳代に好発し、男女比3：1で女性に多い。また、ほとんどが特発性である²⁾。

臨床症状は、正中神経領域の母指・示指・中指・環指橈側1/2に、しびれ、痛み、知覚障害、また、短母指外転筋、母指対立筋など神経支配筋の筋力低下、進行例では母指球の萎縮が生じ、猿手変形をきたす。ADLにおいては、巧緻性低下がみられ、ボタンのかけ外しやペットボトルのふたの開閉、財布からの小銭の出し入れなどが困難となる。

手根管は、横手根靭帯と手根骨で構成され、横手根靭帯の背側面から大菱形骨に至る中隔によって橈側の小管（橈側滑膜性腱鞘）と尺側の大管（尺側滑膜性腱鞘）とに分割される（図1）。橈側の小管には、橈側手根屈筋腱が通り、尺側の大管には、正中神経と4本の浅指屈筋腱、4本の深指屈筋腱および長母指屈筋腱の計9本の腱とそれを包む腱鞘が通る（図1・2）。手根管には、狭い管腔内を多くの腱や神経が通過するので臨床では種々の問題が起こる。また、尺側の大管は滑膜性の腱鞘であるため滑膜炎を起こしやすいと考えられる（図2・図3）。

【手根管の解剖学的特徴】

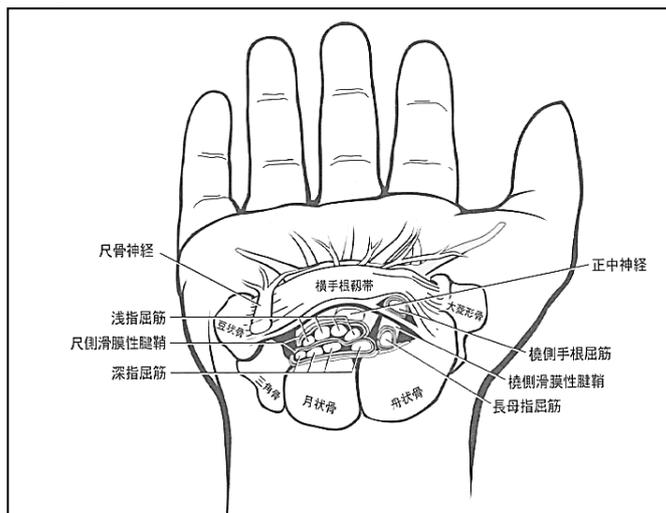


図1 手根管の図（文献3より引用）

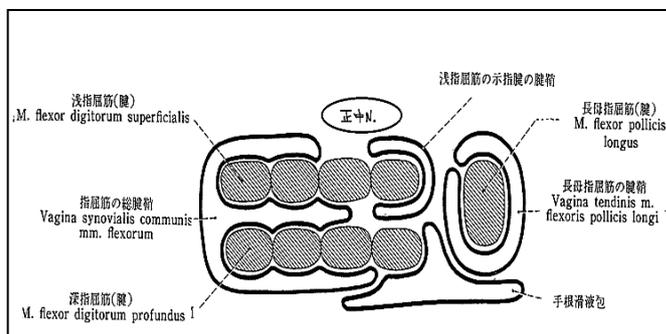


図2 手根管内断面図（文献4より一部改変）

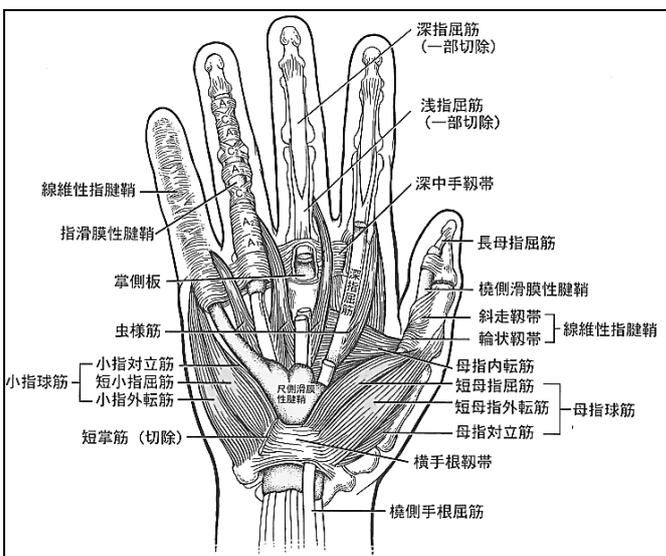


図3 手根管と腱鞘（文献3より引用）

【手根管症候群の原因】

発症の原因としては、物理的な要因と基礎疾患による素因（個人的因子）が、それぞれ単独あるいは重複して手根管症候群を発症させる。

物理的な要因

- ①手関節の掌屈・背屈の反復
- ②手指屈筋の持続的緊張
- ③手関節から手掌への長時間の圧迫
- ④手関節部への小外傷の反復
- ⑤振動工具の使用
- ⑥上記の寒冷環境での労作

素因（個人的因子）

- ①透析
- ②慢性関節リウマチ
- ③糖尿病
- ④妊娠
- ⑤甲状腺疾患

（文献5より引用）

素因に関しては、体循環、ホルモン代謝などの内科疾患であり、問診での一情報となるがOTとしてのアプローチは困難である。それに対して、物理的な要因には、手根管自体の狭窄と手根管内の量的変化が生じた2つのパターンがある。ガングリオンや手関節の滑膜の増殖、横手根靭帯の肥厚など常に正中神経を圧迫し続けるような手根管自体の狭窄は、手根管開放術、滑膜切除術、腫瘍摘出術などの観血的治療の適応となる。また、手根管内の量的変化は、手の過度の使用による腱鞘炎や浮腫などによるため、神経絞扼のメカニズムを考慮し、キーとなる作業活動・動作を見極め、治療や指導が重要であると考えられる。

【神経絞扼のメカニズム】

絞扼性神経障害の物理的要因を考えると2つ考えられる。

1) 神経が伸縮性の少ない4つの面で囲まれた腔を走行しており、内容物が増加することで腔の内圧が上昇し、神経が靭帯の肥厚した部分や辺縁に押し付けられるパターン（図4-a参照）。

ガングリオン・靭帯の肥厚などによる掌側方向からの正中神経への直接的な圧迫や尺側滑膜性腱鞘の炎症や滑膜増殖などの背掌側方向への内容物の増加による圧迫などが考えられる⁶⁾。

2) 靭帯と骨の間を神経が走行し、その前後の屈伸運動に伴って、靭帯部分が支点となってしごかれたり、牽引されるパターン（図4-b参照）。

吉井らは、屈筋腱と正中神経を連結している滑膜組織には、両者の滑走距離の違いから歪が生じ、それが滑膜変性に関連すると報告している。⁸⁾ このことから横手根靭帯の肥厚により手根管の内圧が高まり、また、増殖滑膜の癒着により、さらに歪みが大きくなり、正中神経がしごかれたり、牽引されたりすることが考えられる。

実際は、どちらか一方というより上記の2つのパターンがそれぞれ独立ないし、共同して起こると考えられる。深水らは、手指の肢位による手根管内圧の変化を測定し、掌屈位とMP関節の示指・中指の屈曲でもっとも内圧が高まるとしている⁶⁾。ま

た、手根管症候群の患者の手術所見において、示指・中指の屈筋腱が正中神経の背掌側方向への圧迫に参与していることを報告している¹⁰⁾。したがって、最も手根管内圧を高める作業肢位は、掌屈位での手指の過使用であり、特に母指、示指、中指での三指つまみであると考えられる。このような肢位での手の過用により、腱鞘炎が誘発され、圧迫が強まる。その結果、夜間痛などに至ると考えられる。

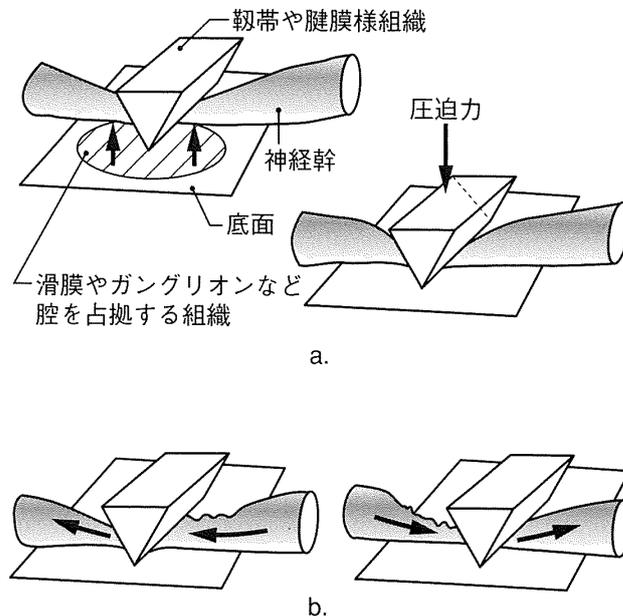


図4 神経絞扼の模式図（文献7より引用）

【ADL評価】

1. 聞き取り（問診）

症状やADL障害については、CTSI (Carpal Tunnel Syndrome Instrument, Boston question) は、患者の質問用紙であり簡便である。

患者の作業状況、効率を聞き取る際には表1のCTDの重症度、表2のCTDの聞き取りは、大変参考になる。また、糖尿病や甲状腺疾患など素因（個人的因子）についても聞いておく。さらに、30%～35%の患者では、自然軽快が見られることも認識しておく必要がある。自然軽快にかかわる因子としては、診断時までの罹病期間が短いこと、若年発症、一側性、Phalen徴候陰性が挙げられる¹³⁾。

2. 手根管症候群のテスト手技（神経刺激テスト）

これらの評価は、医師においては手根管症候群の診断のために用いるが、OTにおいては、いくつかのテスト手技を実施し、しびれの再現性を確認することが重要である。

1) Phalen test (陽性率74%) (写真①)

手関節を90°掌屈させる。30秒～1分でしびれが出現または、増強すれば陽性とする。しびれの出現し始める秒数を書き留めておき、継時的に比較してもよい。

表1 CTDの重症度

(文献1・12より引用)

段 階	症 状
段階Ⅰ (急性期)	活動後に痛みあり、安静により速やかに改善。活動量やスピードの低下はない。客観的な所見は一般的に陰性である。
段階Ⅱ (亜急性期)	活動中に、一カ所に痛みが出現。活動中痛みは持続するが、活動をやめると改善する。生産性は多少低下。客観的な所見が現れる。症状は1か月以上出現している。
段階Ⅲ (亜急性期～慢性期)	活動中に一カ所以上の箇所痛みが出現。痛みは、活動を中止した後も継続。生産性の低下し、活動中に休憩が必要となる。筋力低下や知覚鈍麻、協調性や巧緻性の低下などの客観的な所見が見られる。潜在性あるいは活動性のトリガーポイントがある。
段階Ⅳ (慢性期)	ほとんどの手や上肢の使用で痛みを生じ、それが50～75%の時間出現する。就労は不可能かあるいはかなりの制限を受ける。上記の客観的な所見が見られる。症状は、3か月以上出現している。
段階Ⅴ (慢性期)	慢性的で持続的な痛みのために手の使用が困難。一般的に働くことは不可能になる。症状は、無制限に持続する。

表2 CTDの聞き取り (文献1より引用)

記入日: 年 月 日 患者番号: 氏名:

現在、次の症状がありますか? 「はい」の場合には、その時期と症状について記入してください。

- 腕や手の痛みで夜中に目が覚めることがありますか?
いいえ、はい (頃から、具体的に)
- 指や手、腕に感覚の鈍いところがありますか?
いいえ、はい (頃から、具体的に)
- 手や腕にビリビリ感がありますか?
いいえ、はい (頃から、具体的に)
- 指や手、腕に腫れや不快感がありますか?
いいえ、はい (頃から、具体的に)
- 手や腕に痛みが続いていますか?
いいえ、はい (頃から、具体的に)
- その痛みはどのような動作のときにひどくなりますか?
()

あなたの生活や仕事について、以下の質問に答えて下さい。

- 手首を上下に曲げる(屈曲・伸展)ような動作が多いですか? (はい・いいえ)
- 手首を左右に曲げる(捻屈・尺屈)ような動作が多いですか? (はい・いいえ)
- 雑布を絞るときのような動作を頻繁に行いますか? (はい・いいえ)
- 手や腕を使って何度も同じ動作を行っていますか? (はい・いいえ)
- 物をつまんだり、つかんだりすることが多いですか? (はい・いいえ)
- 肩より上に腕を上げることが多いですか? (はい・いいえ)
- 手や腕を使って強い力を出すことが多いですか? (はい・いいえ)
- 仕事中、指や手首を容器や機の縁などに当てていることがありますか? (はい・いいえ)
- 振動するような道具を使用していますか? (はい・いいえ)
- 道具は手首を上下に曲げ、伸ばし(屈曲・伸展)ながら使用していますか? (はい・いいえ)
- 道具は手首を左右へ曲げ(捻屈・尺屈)ながら使用していますか? (はい・いいえ)
- 道具を握る動作のときに、親指と指は離れていますか? (はい・いいえ)
- 道具の握り柄の間隔は5～8cm以上ですか? (はい・いいえ)
- 道具のハンドルは金属でできていますか? (はい・いいえ)
- 道具の重量は4kg以上ですか? (はい・いいえ)
- 座って仕事をすることが多いですか? (はい・いいえ)
- 作業場は共同で使用していますか? (はい・いいえ)
- 作業のサイクルは一工程30秒以内ですか? (はい・いいえ)

2) Reverse phalen test (陽性率50%)

手関節を90°背屈させる。30秒～1分でしびれが出現または、増強すれば陽性とする。

3) Tinel徴候 (陽性率は割合に低い)⁹⁾

神経の走行に沿って、末梢から中枢に向かって叩打すると、ある部位で末梢の知覚神経支配に電気が散るようなビリビリ感が生じる。叩打した末梢神経支配の知覚軸索の再生部分あるいはエントラップメントポイントを示す。

4) 奥津テスト (陽性率75%)

検者は、被検者と握手の肢位(写真②)をとり、検者は、強制橈屈を実施する(写真③)。しびれが出現、または、増強すれば陽性とする¹¹⁾。可動域制限のある患者でも使用可能である。



写真① Phalen test



写真②



写真③

5) ストレストテスト

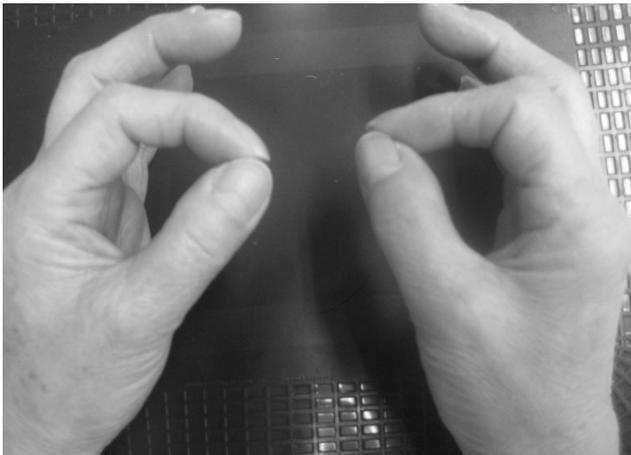
10分間セラピーパテを握らせ、前後に知覚の検査を行う。また、セラピーパテ以外においても、ピンチ動作、ねじ回しなど継時的に評価できるものであればよい。グリップによって痛みやしびれの憎悪が見られる場合は、握力計を握り、症状の出現するもしくは増悪する値を記録しておく。

3. 感覚検査

正中神経支配領域、(母指・示指・中指・環指1/2)に感覚鈍麻が見られる。静的、動的触覚の閾値を診ることは、絞扼性神経障害の早期診断に有効である。Semmes-Weinsteinフィラメントは静的触覚検査であり、256cps、30cpsの音又は動的触覚の検査である。また、症状の軽い場合は、二点識別検査も行う。

4. 筋力テスト

手根管症候群は、手根部での障害であるため、正中神経麻痺では、低位障害に位置づけられる。したがって、正中神経支配の手内在筋(第1・2虫様筋・短母指外転筋・母指対立筋・短母指屈筋浅頭)の検査を行う。短母指外転筋・第1虫様筋は、早期より神経伝導速度の遅延が見られやすいため、注意が必要である。また、母指球の萎縮の見られるような進行例は、正中神経支配領域の手内在筋の麻痺により母指の対立障害がおこる。また、母指・示指間の指尖つまみ(パーフェクトO 写真④)が困難になり、Tear drop sign(なみだ目徴候写真④右手)がみられる。ADL障害としては、ピンチ動作など巧緻動作における拙劣さ、グリップの障害がある。



写真④

以上、評価について述べたが、前述の評価結果から、手根管症候群の発症原因や病態を推測し、筋力低下や感覚障害がどのような病態をつくりだし、ADLに影響しているかを考察する。手内在筋の筋力低下は、手外在筋優位のポジションとなり、長時間作業では、浅・深指屈筋腱に過剰な刺激を与えてしまう。さらに、手根管内でそれらを包む尺側滑膜性腱鞘や長母指屈筋腱を包む橈側滑膜性腱鞘が緊張し、正中神経を圧迫するために痛みとしびれが出現する。また、手の感覚は、手の機能において重要であ

る。とくに、静的触覚の低下により物をよく落としたり、母指・示指・中指の触覚の低下は、つまみ動作に影響し、巧緻性の低下をきたす。

しかし、感覚障害・筋力低下そのものは、病態運動学的に正中神経の絞扼性障害に起因するため、OTによって末梢神経そのものを改善させることは困難である。OTをすすめる上では、機能障害がどれほどADLや生活関連動作に影響しているかを把握し、手の過度の使用による症状の憎悪を回避することが重要である。また、手の機能障害が一次性か二次性か、さらに、別のCTDの可能性を見極め、痛みに対しては、物理療法を利用し、対症療法を行うことも重要である。

今回は、アプローチと症例について述べる。

後編に、つづく・・・

【引用・参考文献】

- 1) 中田眞由美, 大山峰生: 作業療法のためのハンドセラピー入門. 三輪書店, 2007.
- 2) 日本神経治療学会: 標準的神経治療. 手根管症候群, 2007.
- 3) Donald A. Neumann: 筋骨格系のキネオロジー. 医歯薬出版, 2005.
- 4) 森於菟ら: 分担解剖学1 総説・骨学・靭帯学・筋学. 金原出版, 1982.
- 5) 伊地知正光: 手根管症候群. 総合リハ, 20: ,1992. 395-397
- 6) 松崎昭夫: 手根管症候群手術中に見られた横手根靭帯・正中神経・指屈筋総腱滑液鞘の変化—手根管症候群発症メカニズムの一考察—. 整形外科と災害外科, 59: 23-26, 2010.
- 7) 茨木邦夫, 斉藤英彦: 手の外科診療ハンドブック. 南江堂, 2004.
- 8) Yoshii Y et al: The effect of wrist position on the relative motion of tendon, nerve, and subsynovial connective tissue within the carpal tunnel in a human cadaver model. J Orthop 26:1153-1158, 2008.
- 9) 中村耕三: 手・肘の痛みクリニカルプラクティス. 中山書店, 2010.
- 10) 深水優, 松崎昭夫: 手指の肢位による手根管内変化の測定. 整形外科と災害外科, 53:92-94, 2004.
- 11) 奥津一郎, 浜中一輝ら: Day surgeryによるU S E systemを用いた手根管症候群の内視鏡手術. 骨・関節・靭帯, 18:207-215, 2005.

- 12) 中田眞由美：上肢の障害；絞扼性障害. 総合リハ, 34:327-332, 2006.
- 13) 野崎奈緒美：手根管症候群に対する的確・迅速な臨床推論のポイント. 理学療法, 28:157-163, 2011.
- 14) 石井英樹, 浅見昭彦ら：高齢者における手根管症候群の検討. 整形外科と災害外科, 53:178-181, 2004.
- 15) 渡部徹, 菊池臣一ら：手根管症候群に対するnight splint装着の治療効果. 整形外科, 44:251-253, 1993.
- 16) 上羽康夫：手 その機能と解剖. 金芳堂, 2006.
- 17) 菊池臣一：肘・手の痛み. 南江堂, 2011



久山療育園重症児者

医療療育センター

作業療法士・理学療法士募集

【募集人員】 作業療法士1名, 理学療法士1名

【雇用形態】 正規職員

【条件】 リハ実務経験者で, 重症児者のリハ・療育に興味と熱意のある方

【勤務時間】 8:00~17:00

【休日】 週休二日制, 祝日, 年末年始

【勤務開始】 2013年4月

【選考方法】 書類選考の上, 面接

【応募締め切り】 2012年11月30日(金)

【面接日】 2012年12月18日(火)8:40~

【応募方法】

担当者まで, お電話かメールでご連絡下さい. 園ホームページもご覧下さい.

園ホームページ:

<http://www1a.biglobe.ne.jp/hisayama/>

【連絡先】

久山療育園重症児者医療療育センター

TEL:092-976-2281

メール:bt-hisayama-riha@xqb.biglobe.ne.jp

【担当者】



回復期リハビリテーション病棟 44床
医療療養病棟 166床
訪問リハビリ

- 募集人員: PT5名, OT5名
- 勤務時間: 8:30~17:15
- 休日: 年間114日
- 給与: 基本給 242,000円 (経験3年の場合)
- 手当: 業務手当 30,000円
- 応募方法: 電話連絡の上, 履歴書 (自筆, 写真貼付) をご郵送下さい。

担当: 河野(かわの)

〒745-1132 山口県周南市大字瀬野4278番地1

TEL:0834-83-3300 FAX:0834-83-3550

E-mail:knj@shunan-rh.jp <http://www.shunan-rh.jp>



回復期病棟増床につき
経験豊かなスタッフを募集中

回復期リハビリテーション病棟 80床
医療療養病棟 40床

- 募集人員: PT5名, OT5名, ST3名
- 勤務時間: 8:30~17:15
- 休日: 年間114日
- 給与: 基本給 242,000円 (経験3年の場合)
- 手当: 業務手当 30,000円
- 応募方法: 電話連絡の上, 履歴書 (自筆, 写真貼付) をご郵送下さい。

担当: 園廣(くにひろ)

〒745-0851 山口県周南市大字徳山626番地

TEL:0834-33-7770 FAX:0834-33-7750

E-mail:knj@tokuyama-rh.jp <http://www.tokuyama-rh.jp>

各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

1. 主催研修会開催報告

1) 地域分野研修会（基礎編）

日時:平成24年7月7日（土） 14:20～18:00

会場:福岡医健専門学校

テーマ:『コーチング基礎 ～スタイル別コミュニケーション～』

講師:小林 真（富田薬品株式会社 人事部）参加数:45名（OT 43名, PT 1名, 学生 1名）

2) 精神分野研修会

日時:平成24年7月14日（土） 15:00～17:00

会場:専門学校麻生リハビリテーション大学校

テーマ:『統合失調症の認知機能障害について』

講師:久野 真矢

（九州栄養福祉大学 作業療法学科教授）

参加数:80名（OT 78名, ST 1名, 学生 1名）

3) 第1回現職者共通研修

日時:平成24年8月26日（日） 9:30～12:40

会場:小倉リハビリテーション学院

テーマ & 参加数 & 講師:

区分1

①作業療法生涯教育概論 26名

福岡県作業療法協会事務局長 中川 昇,
国際医療福祉大学 丹羽 敦

②職業倫理 32名

北九州リハビリテーション学院 榎本 孝史

区分2

①作業療法の可能性 22名

福岡県作業療法協会会長 志井田 太一

②事例検討方法論 16名

小倉リハビリテーション学院 音琴 慎一

区分3

①保健・医療・福祉と地域支援 34名

小倉北区役所保健福祉課 上原 美香

②エビデンスと作業療法実践 31名

広島大学大学院 宮口 英樹

区分4

①日本と世界の作業療法の動向 19名

九州栄養福祉大学 大丸 幸

②作業療法における協業・後輩育成 24名

北九州リハビリテーション学院 森光 洋子

4) 老年期分野研修会

日時:平成24年9月9日（日） 10:00～15:00

会場:小倉リハビリテーション学院

テーマ:『先輩OT, ユーザーがとらえる老年期作業療法について』

講師:坂口 聡子（北九州市小倉医師会

訪問看護ステーション）

谷川 良博（はつらつデイケア）

野邊 薫（遠賀中間医師会おかがき病院）

葉山 靖明（デイサービスけやき通り 施設長）

コーディネーター:高内 志保

（北九州リハビリテーション学院）

参加数:63名

2. 今後の主催研修会開催予定（日程・会場）

1) 分野別研修会

①発達分野研修会:H24. 11. 11(日)

麻生リハビリテーション大学校

②地域分野研修会（応用編）:

H25. 1. 20(日) or 27(日) 福岡医健専門学校

2) 生涯教育制度関連研修会

①現職者共通研修:第2回:H24. 11. 10(土)

福岡和白リハビリテーション学院

②現職者選択研修:身体分野:H24. 11. 11(日)

麻生リハビリテーション大学校

【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催:7月5日, 8月9日, 9月13日

2. エリア会部

城南区・早良区エリア会

日時:8月7日（火） 『事例検討の書き方』

参加:13名

3. 広報部

1) 7月号「Joy Style」発行

4. 教育学術部

1) 『介護保険・福岡の福祉サービスについて』

日時:7月12日 19:00～20:30

場所:麻生リハビリテーション大学校

講師:勝木弘美先生

参加:57名

2) 『認知症に対する作業療法の実践

－事例を通じて－』

日時:8月29日（水） 19:00～21:00

会場:麻生リハビリテーション大学校

参加:114名

5. 県民健康づくりセミナー

『なるほど, 認知症.

～正しい理解と対応のコツ～』

日時:8月7日（火） 14:00～15:00

会場:福岡県医師会館

参加:29名

【筑豊ブロック】

1. 事業企画会議

平成24年度 第2回事業企画会議

日時:平成24年6月11日（月） 19:00～21:00

会場:飯塚記念病院 デイケアセンター新館

参加者:14名

第3回 県学会準備委員会

日時:平成24年7月9日（月） 19:00～21:30

会場:飯塚記念病院 デイケアセンター新館

参加者:6名

平成24年度 第3回事業企画会議

日時:平成24年8月27日(月) 19:00~20:30
会場:飯塚記念病院 デイケアセンター新館
参加者:12名

第4回 県学会準備委員会

日時:平成24年8月27日(月) 20:30~21:30
会場:飯塚記念病院 デイケアセンター新館
参加者:14名

2. 研修会

第3回 筑豊ブロック研修会

日時:平成24年8月24日(金) 19:00~21:00
会場:飯塚記念病院 多目的ホール
内容:回復期の退院支援
講師:薦田剛敬OTR
(健康リハビリテーション内田病院)

参加者:50名

現職者共通研修 第1回 事例報告会

日時:平成24年9月14日(木) 19:00~21:00
会場:飯塚記念病院 多目的ホール
参加者: 発表者:6名, 聴講者:2名,

3. その他

広報誌第2号 9月14発行

【筑後ブロック】

I. 理事会報告

1. 活動報告

(1) 理事会の報告

○報告事項:(第1回県協会理事会より)
平成24年4月2日(月) - 良創夢にて

1) 会長行動(平成24年2月~平成24年3月)

- ①2. 4 平成23年度第3回九州支部会 出席
場所:神村学園
- ②2. 6 平成23年度 福岡県作業療法協会
第6回理事会 出席 場所:良想夢
- ③2. 8 平成23年度 第2回福岡県高次脳機能
障害相談支援体制連携調整委員会出席
場所:福岡県吉塚合同庁舎
- ④2. 11 第13回産業医科大学リハビリテーショ
ン講習会 参加
場所:産業医科大学
- ⑤3. 4 平成24年度福岡県作業療法協会定期総
会 出席 場所:良想夢
- ⑥3. 10 福岡県3団体(PT・OT・ST) 合同訪問
リハビリテーション研修会 参加
場所:麻生リハビリテーション専門学校
- ⑦3. 17 作業療法推進活動に関する連携・調整
会議 出席
- 18 平成23年度第3回都道府県作業療法士
会連絡協議会 役員会 出席
場所:日本作業療法士協会事務所

2) 副会長より

①障害者総合福祉法(新障害者福祉法)について

3) 事務局長より

①公益法人理事の名刺作成について⇒幾つかの
サンプル提示より決定。

4) 学術部より

①第17回福岡県作業療法学会日程について

5) 渉外部より

①介護保険・障害者認定審査会委員の任期に
ついて

6) 広報部より

①県OT協会啓発ポスター作製完了⇒福岡県内
中・高校へ配布作業を行う。

7) 事業部より

①30周年記念式典の経過報告と検討事項につ
いて

②会員及び会員外の対応を検討

8) 保険福祉部より

①発達領域⇒就学支援について

②部員の補充について

9) 規約委員会

①第1回規約委員会開催予定

10) 保険委員会

①3/28委員会開催

11) 企画委員会

①30周年祝賀会・西日本福祉機器展の企画に
ついて

12) 監事より

①監査について

13) 地区担当理事より

①地区担当理事より報告(まとめて報告)

(2) 理事会検討議題について

- (1) 平成24年度の運営について
- (2) 30周年記念式典について
- (3) 公益法人としての体制整備
- (4) 組織再編による各部・委員会の業務整理
- (5) 新HPの進捗状況及び業者の検討について
- (6) その他

II. A地区

1. 活動報告

(1) A地区事業企画会議

- 1) 開催日 :2012年4月6日
- 2) 開催場所:石橋文化会館
- (2) 筑後ブロック研修会
- 1) 日時 :平成24年4月6日(金)
- 2) 時間 :19:00~21:00
- 3) 場所 :石橋文化会館
- 4) 講師 :座小田副会長, 福田理事
- 5) 受講者:153名(他職種:27名参加)
- 6) 内容:診療報酬改定(医療保険・介護保険)

2. 活動予定

(1) 24年度地区研修会

1) 川原大和氏を講師として依頼予定。

①場所:久留米大学の共同カンファレンスor
えーるぴあ久留米

②時期:9月開催に検討(7月中旬に案内状
送付予定)→ナイトセミナーにて実施予定

2) 生活行為向上マネージメントについても研

修会開催を検討中。

Ⅲ. B地区

1. 活動報告

(1) 23年度B地区企画会議（第8回）

- 1) 平成24年3月7日（水）19:30～ 介護老人保健施設のぞみ船小屋
- 2) 参加者;中原徳郎氏, 武田実氏, 下川真由美氏, 大村洋介氏, 下村祐美子氏, 溝口貴之氏
- 3) 内容;24年度地区活動計画, 運営委員交代について

2. 活動予定

(1) 24年度地区活動

- 1) 筑後ブロック全体研修会→9月の第一or第二日曜日で調整, 講師は轟木健市ブロック理事に依頼.
- 2) 地区交流会 → 11月に予定
- 3) 新人症例発表会 → 平成25年1月に予定

3. その他

(1) B地区運営委員交代

- 1) 退任;武田実氏（川崎病院）, 下川真由美氏（柳川療育センター）
- 2) 新任;山下和希氏（川崎病院）

23年度		24年度
中原徳郎	地区長	中原徳郎（介護老人保健施設のぞみ船小屋）
武田実 （退任）	副地区長	大村洋介（高木病院）
大村洋介	学術	溝口貴之（みずま高邦会病院通所リハビリセンター）
下川真由美 （退任）	事務会計	下村祐美子（八女リハビリ病院）
下村祐美子	教育	山下和希（川崎病院）
溝口貴之	教育	未定

*敬称略

Ⅳ. C地区

1. 活動報告:前回会議にて報告している内容に変更なし, 次回会議開催にて具体的に報告.
2. 活動予定:5月に会議開催予定後, 具体的に内容を決定していく.

Ⅴ. D地区

1. 活動報告

(1) 地区事業企画会議

- 1) 期日:H24.3.6
- 2) 場所:甘木中央病院
- 3) 出席者:古賀氏, 川添氏, 筒井氏, 出利葉氏
- 4) 内容
 - ①全体会議報告
 - ②H24年度会議スケジュール

2. 活動予定

(1) 地区懇親会

- 1) 期日:H24.7.21(土)or28(土)予定
- 2) 場所:キリンビアファーム
- 3) 会費:食べ飲み放題 ¥4,000程度

4) 幹事:出利葉氏

(2) 地区研修会

- 1) 期日:H25.2.8(金) 19:00～20:30
- 2) 場所:朝倉医師会病院
- 3) テーマ及び内容:未定

3. その他

(1) 24年度の役員組織編制

- 1) 役員交代 原鶴温泉病院 川添氏 ⇒ 原鶴温泉病院 丸田氏
- 2) 会計受け継ぎ 朝倉健生病院 筒井氏 ⇒ 甘木中央病院 出利葉氏

Ⅵ. 学術

1. その他:『事例検討報告会』検討事項

(1) 開催日程について

通常年4回（10月, 11月, 1月, 2月）実施している.

筑後ブロック長より実施法について再考を求められる. 今後の開催形式を検討するにあたり, 案を策定し以下に記す.

- 1) 例年通りに平日のナイトセミナー形式で実施.
- 2) 土・日を利用して実施.
- 3) 全体・分野別研修会との抱き合わせでの実施.
- 4) 研修会とは別に, 筑後地区作業療法学会を開催し, その演題発表に事例報告の内容を使用する.

◆決定事項:

1) 開催回数

（年に4回実施:10月, 11月, 1月, 2月）

10月:A地区

11月:D地区

1月:B地区

2月:C地区

- 2) 次年度以降に全体・分野別研修会との抱き合わせで症例検討会の実施を検討する上で 筑後ブロック協会員にアンケートを実施し, 検討していく.

(2) 発表分野での差について

日本作業療法士協会 生涯教育部 生涯教育推進委員会会議（平成20年11月29日と30日）にて現職者共通研修「事例報告」の基本方法よりSIG等で発表した同じ事例を県協会が作成した事例報告様式（事例報告作成指針の書式）を使用し, 発表してもかまわない.

（SIG等にて発表した事例を現職者共通研修「事例報告」読み替えることは可能だが, 県協会指定の抄録の様式にて事務局に申請が必要になります.）

*この通達が理解されていないように思われ, 案内文に記載し, 登録しやすい環境を整える.

(3) 座長選考について

発表申し込みを締め切り, 発表者の人数が把握できたら, 座長・コメンテーターを発表4～5名あたり1名選出し, 依頼する

Ⅶ. 教育

1. 次年度計画

- (1) 第1回;平成24年7月8日 or 7月22日
- (2) 第2回;平成24年12月2日

2. その他

- (1) 運営部員選任中

Ⅷ. 事務

1. 活動予定, その他

1) 親睦会

- (1) 開催日程:平成24年6月23日(土)19:00～受付,19:30～開宴
- (2) 場所:アルティノー
- (3) 運営
 - 1) 開催準備:事務(永田,木村)→案内,受付,会計
 - 2) 当日運営:担当地区(B地区, C地区)→司会進行,プログラム作成実施
- (4) 案内文5月発送予定.

2) ポイントシール

- (1) 23年度活動された部員の皆様にはポイントシールを配布いたしますので他部門にて活動されている方は,重複しないようご注意下さい.

3) 運営名簿

- (1) 各責任者は確認と訂正をお願いいたします.
*後日メールいたします.

【保健委員会】

1. 研修会報告

研修会名:保険委員会主催研修会

日時:平成24年9月1日(土曜日)13:00～16:00

会場:福岡医健専門学校

内容:テーマ1:「障害福祉の動向」

～障害者総合支援法について～

テーマ2:「診療報酬・介護報酬同時改訂その後」

講師:テーマ1: 濱本孝弘(聖ヨゼフ園)

テーマ2: 座小田孝安(株式会社シダール)

参加数:40名

2. 第4回保険委員会事業企画会議開催

日時:平成24年8月20日

会場:あおぞらの里 古賀デイサービスセンター



作業療法士 急募!

医療法人財団はまゆう会

相生リハビリテーションクリニック

- 【募集人数】 常勤職員 2名
- 【応募資格】 作業療法士及び来年度免許取得予定者
- 【施設概要】 入院・外来リハビリ
脳血管リハ(I) 運動器リハ(I)
心大血管リハ(I) 呼吸器リハ(I)
通所リハビリ, 訪問リハビリ
- 【勤務時間】 8:30～17:00 1日実動 7.5時間
- 【休日】 週休2日制, 他 祝祭日休み
有給休暇 有り
- 【初任給】 基本給 183,700円
(調整, 特別手当含)
給与は経験加味
通勤手当・住宅手当・休日手当・実動
手当あり
昇給年1回, 賞与年2回
- 【加入保険】 健康, 労災, 雇用, 企業年金, 団体保険
- 【応募選考要領】 履歴書 健康診断書
(新卒者は成績証明書・卒業見込証明書も必要)
- 【応募方法】 お電話でご連絡下さい.

【書類提出・連絡先】

〒806-0037 北九州市八幡西区東王子町14-17
医療法人財団はまゆう会 王子病院
担当者 事務長 荻堂まで

TEL093-641-1239

訪問看護ステーションにしこう博多 リハビリ職員募集

募集職種: 作業療法士(PT/STも可)

募集人数: 2名

雇用形態: パート労働者

給与: 時給 3500円

賞与: なし

勤務時間: 9:00～18:00の間で, 1～5時間(応希望)

休日: 他 週に1日から5日勤務(応希望)

福利厚生: 労災保険

交通費: 実費支給(上限 1000円/日)

備考: 在宅で療養中の方(介護保険・医療保険)に対して, 主治医の指示に基づき, リハビリを提供します。病院や施設経験3年ほどあれば, 訪問リハ初心者の方でも, 同行し, ていねいにサポートします。女性が働きやすい職場です。訪問先は福岡市東区・博多区・粕屋郡など。原則, ご自宅から直行直帰となります。お電話・メールなどでお気軽にお問い合わせ下さい。

連絡先: 住所: 〒812-0053 福岡市東区箱崎1丁目17-11

電話番号: 092-643-8208 FAX: 092-643-8215

Eメール: hakatakango@nisiko.jp

担当者名: 濱田・深川

平成24年度 第1回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 日 時 :平成24年4月2日(日) 20時30分～22時30分
- II. 場 所 :株式会社 らそうむ 嘉麻店
- III. 理事総数 :20名
- IV. 出席理事数:20名
- V. 出席者氏名:志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 丹羽敦, 深町晃次, 田中真純, 菅沼一平, 榎本孝史, 濱本孝弘, 手島智康, 福田裕樹, 中山仁, 佐藤稔, 轟木健市, 大社学美, 大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男(以上, 理事). 吉田秀樹(監事). 埜野美紀子, 鐘ヶ江秀俊, 藤崎実知子(以上, 事務局)
- 欠席者氏名:原口健三(監事)(敬称略)
- VI. 議長選任
定款第32条に基づき, 議長に志井田代表理事を選任した.
- VII. 審議事項
1. 平成23年度事業報告及び平成23年度収支決算報告について
平成23年度事業及び平成23年度収支決算について中川理事から報告があり承認可決された.
- VIII. 協議事項
1. 平成24年度の運営について
平成24年度の主な事業とスケジュールについて志井田会長から報告があり承認された.
 2. 福岡県作業療法協会設立30周年記念式典について
福岡県作業療法協会設立30周年記念式典について榎本事業部担当理事から進捗状況の報告と案内状の配布, 会費の徴収方法などについて提案があり継続検討していくことで承認された.
 3. 新ホームページの進捗状況及びホームページ業者の検討について
新ホームページについて菅沼広報部担当理事から進捗状況の報告と掲載内容, 業者の選定条件などについて提案があり継続検討していくことで承認された.
- IX. 報告事項
(会長より)
会長行動(平成24年2月～平成24年3月)
平成23年度 第3回九州支部会 出席
平成23年度 福岡県作業療法協会第6回理事会 出席
平成23年度 第2回福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会 出席
第13回産業医科大学リハビリテーション講習会 参加
平成23年度 福岡県作業療法協会定期総会 出席
福岡県三団体(PT・OT・ST)合同訪問リハビリテーション研修会 参加
作業療法推進活動に関する連携・調整会議 出席
平成23年度 第3回都道府県作業療法士会連絡協議会 役員会 出席
- (副会長より)
自立支援法改正案についての3月13日の閣議を受けて, 福岡県障害者協議会と連名で県の民主党議員連盟へ要望書を提出した。(竹中副会長)
- (各部長・委員長より)
(学術部)
第17回福岡県作業療法学会を平成25年3月9日10日開催の予定で準備をすすめている.
- (広報部)
広報部全体会議が開催され広報の方法論などについて検討した.

〈事業部〉

作業療法の啓発ポスターが完成した。日本作業療法士協会の広報パンフレットとあわせて広報活動に役立てていく。

〈保健福祉部〉

久留米市セーフコミュニティ推進委員会に濱本理事が参加予定。

〈保険委員会〉

診療報酬・介護報酬改定についての研修会を県内5ブロックで開催予定。

(各ブロック担当理事より)

〈筑後ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催

活動予定－研修会開催

〈福岡ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，現職者共通研修事例報告会開催，研修会開催，広報誌発行

活動予定－事業企画会議開催，研修会開催

〈福岡東ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，

活動予定－事業企画会議開催，研修会開催

〈筑豊ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，交流会開催

活動予定－事業企画会議開催，研修会開催，広報誌発行

〈北九州ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，

X. 次回開催日

平成24年6月3日（日）12:30～ 場所:株式会社 らそうむ 嘉麻店



平成24年度 第2回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

I. 日 時 :平成24年6月3日(日) 12時30分～16時30分

II. 場 所 :株式会社 らそうむ 嘉麻店

III. 理事総数 :20名

IV. 出席理事数:19名

V. 出席者氏名:志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 丹羽敦, 田中真純,
菅沼一平, 榎本孝史, 濱本孝弘, 手島智康, 福田裕樹, 中山仁, 佐藤稔, 轟木健市,
大社学美, 大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男(以上, 理事). 吉田秀樹(監事).
埜野美紀子, 藤崎実知子(以上, 事務局)

欠席者氏名:深町晃次(理事). 原口健三(監事). 鐘ヶ江秀俊(事務局) (敬称略)

VI. 議長選任

定款第32条に基づき, 議長に志井田代表理事を選任した.

VII. 審議事項

1. 会員の入会について

平成24年4月1日から5月31日までの間に59名の入会があったことについて中川事務局長から報告があり, 定款第7条に基づき入会が承認可決された.

VIII. 協議事項

1. 福岡県作業療法協会設立30周年記念式典について

福岡県作業療法協会設立30周年記念式典について榎本事業部担当理事から進捗状況報告. 案内状の配布, 会費の徴収方法について承認された. 運営の詳細については継続検討していくことで承認された.

2. 福岡県作業療法協会設立30周年記念誌に発行について

福岡県作業療法協会設立30周年記念誌について竹中副会長から掲載内容などについて提案があり継続検討していくことで承認された.

3. 新ホームページの紹介とコンテンツについて

新ホームページについて菅沼広報部担当理事からコンテンツの内容について提案があり継続検討していくことで承認された.

4. 県協会主催研修会について

県協会主催研修会について各部, ブロック担当理事から現在の実施状況を確認. 参加対象者と参加費について決定承認された.

IX. 報告事項

(会長より)

会長行動(平成24年4月～平成24年5月)

公益社団法人福岡県作業療法協会	臨時社員総会	出席
公益社団法人福岡県作業療法協会	平成24年度第1回理事会	出席
公益社団法人福岡県作業療法協会	監事監査(平成23年度決算)	
一般社団法人日本作業療法士協会	平成24年度社員総会	出席

(各部長・委員長より)

(教育部)

主催研修会の予定報告があった.

(学術部)

第17回福岡県作業療法学会を平成25年3月9, 10日 飯塚コミュニティセンターにて開催する. 学術誌について6月末頃発行予定で準備をすすめている.

〈渉外部〉

福岡県介護支援専門員協会 理事会（5月17日，5月23日開催）広報部会（4月5日，5月22日開催）出席．飯塚市高齢者対策推進協議会（4月25日開催）出席．地域生活リハビリテーション研究会開催（5月25日）．地域介護実習普及センターへ講師を派遣した．（5月22日，5月23日，5月30日，5月31日）

〈事業部〉

作業療法の啓発ポスターと日本作業療法士協会の広報パンフレットについて県内高等学校への配布準備をすすめている．

〈企画委員会〉

西日本福祉機器展の準備は今年度より企画委員会が担当する．

（各ブロック担当理事より）

〈筑後ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催
活動予定－事業企画会議開催，研修会開催，現職者共通研修事例報告会開催

〈福岡ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，現職者共通研修事例報告会開催，広報誌発行
活動予定－事業企画会議開催，研修会開催

〈福岡東ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，
活動予定－事業企画会議開催，研修会開催

〈筑豊ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，
活動予定－事業企画会議開催，交流会開催，研修会開催，広報誌発行

〈北九州ブロック〉

活動報告－事業企画会議開催，研修会開催，広報誌発行

X. 次回開催日

平成24年8月6日（月）19:00～ 場所:株式会社 らそうむ スポーツガーデン



平成24年度 第3回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 日 時 :平成24年8月6日(月) 19時30分～22時45分
- II. 場 所 :株式会社 らそうむ スポーツガーデン
- III. 理事総数 :20名
- IV. 出席理事数:18名
- V. 出席者氏名:志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 丹羽敦, 深町晃次,
田中真純, 菅沼一平, 榎本孝史, 濱本孝弘, 手島智康, 福田裕樹, 轟木健市,
大社学美, 大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男(以上, 理事). 吉田秀樹(監事).
鐘ヶ江秀俊, 藤崎実知子(以上, 事務局)
- 欠席者氏名:中山仁, 佐藤稔, (理事). 原口健三(監事). (敬称略)
- VI. 議長選任
定款第32条に基づき, 議長に志井田代表理事を選任した.
- VII. 審議事項
1. 会員の入会について
平成24年6月1日から7月31日までの間に93名の入会があったことについて中川事務局長から報告があり, 定款第7条に基づき入会が承認可決された.
 2. 福岡県作業療法協会設立30周年記念式典予算について
福岡県作業療法協会設立30周年記念式典予算について, 榎本事業部担当理事から修正案が提案され, 定款第38条に基づき承認可決された.
- VIII. 協議事項
1. 福岡県作業療法協会設立30周年記念式典について
福岡県作業療法協会設立30周年記念式典について, 榎本事業部担当理事から進捗状況報告. 当日の流れ, 役割分担について再確認し承認された. また手島規約委員会担当理事から感謝状・記念品についての提案があり賞状・盾等を贈呈することが承認された.
 2. 福岡県作業療法協会設立30周年記念誌に発行について
福岡県作業療法協会設立30周年記念誌について竹中副会長から掲載内容などについて提案があり継続検討していくことで承認された.
 3. 作業療法の啓発事業について
榎本事業部担当理事から作業療法の啓発事業として, 高校生を対象とした職場体験などの企画提案があった. 今年度は一部の地区でパイロットスタディとして実施し今後の事業への参考にしていくこととなった.
 4. 生活行為向上マネジメント研修会の参加費について
日本作業療法士協会の推進事業でもある生活行為向上マネジメントについて, 福岡県協会が研修会を開催する際の参加費について検討. 県協会研修会参加費の規定に基づき1000円とすることを確認した.
 5. 事例報告会座長・コメンテーター選出基準の確認方法について
各ブロックで開催されている事例報告会の座長・コメンテーター選出について, 生涯教育制度基礎コース修了などの選出基準をみたしているかどうかの確認方法を検討. 会員情報を教育部白山理事・青山氏が管理し, 各ブロックから問い合わせ確認することとなった.
 6. S I G申請について
白山教育部担当理事からS I G申請(2件)があったことについて報告され承認された.

IX. 報告事項

(会長より)

会長行動（平成24年6月～平成24年7月）

佐賀県作業療法士会 設立30周年・一般社団法人認定記念式典 出席

公益社団法人福岡県作業療法協会 平成23年度決算社員総会 出席

公益社団法人福岡県作業療法協会 平成24年度第2回理事会 出席

平成24年度 都道府県作業療法士会連絡協議会 総会 出席

平成24年度 九州支部会 出席

平成24年度 役員会 出席

第46回日本作業療法学会 参加

第33回九州PT・OT合同学会準備委員会（終了）

大分県作業療法協会 創立30周年・公益社団法人認定記念式典 出席

平成24年度第1回福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会 出席

都道府県作業療法士会連絡協議会 役員会 出席

平成24年9月6日（木）7日（金）に開催される訪問リハ地域リーダー会議（会場 タイム24ビル 東京都江東区）について、反田治氏（訪問看護ステーションきらら）深井伸吾氏（いきいきリハビリケア）佐野功一氏（宗像水光会病院）の3名に参加を要請している。

(副会長より)

第10回日本作業療法士協会・都道府県士会合同役職者研修会に竹中副会長，濱本理事が出席。協会の活動内容や都道府県士会との情報共有化の推進など会議内容について報告。

福祉の職場説明会出席報告。（竹中副会長）

第13回日本語聴覚士学会（平成24年6月15日福岡国際会議場にて開催）に代表理事の代理として竹中副会長が出席した。

(各部長・委員長より)

〈教育部〉

主催研修会開催報告—地域分野研修会（参加者45名），精神分野研修会（参加者80名）
予定報告—分野別研修会，生涯教育関連研修会，本部協会主催（福岡県開催）研修会

〈学術部〉

第17回福岡県作業療法学会の企画案と進捗状況の報告。

〈渉外部〉

福岡県介護支援専門員協会 総会（6月9日開催）広報部会（6月28日，7月10日，8月2日開催）
出席。飯塚市高齢者対策推進協議会（6月27日開催）出席。福岡県介護支援専門員協会設立10周年記念式典に志井田代表理事が出席予定。

〈事業部〉

作業療法の啓発ポスターを県内高校に配布した。平成24年10月11日福岡市保健福祉センターにて開催されるハートメディアについて準備をすすめている。

〈保健福祉部〉

活動報告—粕屋町子育てサロン（8月4日），久留米市介護予防事業（5月17日，5月22日，
7月12日開催）にOTを派遣した。

活動予定—生活行為向上マネジメント研修会，認知症講師育成研修会を開催予定。粕屋町子育て
サロン，大刀洗町介護予防事業にOTを派遣予定。

〈規約委員会〉

福岡県作業療法協会規約集を作成中。平成25年度の協会表彰推薦者を選考中。

〈保険委員会〉

9月1日主催研修会を開催予定.

(各ブロック担当理事より)

〈筑後ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催, 研修会開催

活動予定—事業企画会議開催, 研修会開催, 現職者共通研修事例報告会開催

〈福岡ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催, 現職者共通研修事例報告会開催, 広報誌発行

活動予定—事業企画会議開催, 研修会開催

〈福岡東ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催, 研修会開催

活動予定—事業企画会議開催, 研修会開催, 現職者共通研修事例報告会開催

〈筑豊ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催, 研修会開催,

活動予定—事業企画会議開催, 研修会開催, 現職者共通研修事例報告会開催, 広報誌発行

〈北九州ブロック〉

活動報告—事業企画会議開催, 研修会開催, 現職者共通研修事例報告会開催

活動予定—事業企画会議開催, 研修会開催

X. 次回開催日

平成24年10月1日(月) 19:00~ 場所:株式会社 らそうむ スポーツガーデン

医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス (福岡県福岡市)
大川キャンパス (福岡県大川市)

【医療福祉学研究科】

修士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野 ●ナースプラクティショナー養成分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野
- 作業療法学分野 ●言語聴覚分野 ●視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野
- リハビリテーション学分野 ●放射線・情報科学分野 ●生体補助医療胚培養分野
- 医療経営管理分野 ●診療情報アナリスト養成分野 ●医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野

医療福祉経営専攻

臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野 ●助産学分野 ●理学療法学分野 ●作業療法学分野 ●言語聴覚分野
- 視機能療法学分野 ●福祉援助工学分野 ●リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野 ●生体補助医療胚培養分野 ●医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野 ●医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 ●医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野 ●医療福祉心理学分野

【薬科学研究科】

修士課程

生命薬科学専攻

【薬学研究科】

博士課程

医療・生命薬学専攻

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものもございますので、詳細につきましては、お問い合わせ下さい。※短大卒・3年制専門学校卒で進学可能(修士課程)



- ◆ 社会人の方も働きながら無理なく受講できます
- ◆ 一流教授陣の講義をリアルタイムで受講できます
- ◆ 研究者志向の方のニーズにも対応できます

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

福岡天神キャンパス

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜 1-3-1
TEL 092-739-4321 E-mail fukucamp@iuhw.ac.jp

(平成25年4月より下記に移転予定)
福岡県福岡市早良区百道浜 3-6-40 (福岡国際医療福祉学院内)

大川キャンパス

〒831-8501 福岡県大川市榎津 137-1
TEL 0944-89-2000 E-mail oocamp@iuhw.ac.jp

HP <http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

住田病院は、北九州市若松区に位置し、国道199号線沿いに建つ、自然の多い精神科病院です。近隣には、国立県営福岡障害者職業能力開発校や同じ精神科である若戸病院があります。当院の開設は、S47年11月1日であり、今年で40周年となります。診療科目は、内科 精神科・リハビリテーション科で、病床数は209床です。内訳は、精神科病棟が105床(1病棟:45床, 2病棟:60床)、認知症疾患治療病棟が104床(第1治療病棟:44床, 第2治療病棟:60床)で、疾患別にみても、統合失調症、うつ(躁うつ)病、認知症が大半を占めています。以上が当院の主な紹介ですが、最近OTR数も少し増え、常勤OTR7名、非常勤OTR3名が働いています。配属場所が、精神科、老人、通所リハ、デイケアと多岐に渡っていますが、情報共有はなるべく密に行っています。

さて、ここより当院の様々な活動について紹介します。精神科病棟では、集団OTが主体となっており、ゲームGとクラフトGがあります。前者には、体を使って対決するスポーツ系から、頭を使って対決する知的系、さらには皮革細工・手工芸G・Wii・カラオケに至るまで多様な活動があります。後者は、塗り絵・間違い探し・クロスワードなどがあります。健康Gとしては、健康体操・院外散歩などのプログラムも隔週で行っています。また、今後の活動として『社会体験G』といった長期入院の方を対象にしたプログラム(外出・買物等)も検討しています。

次に、私が担当している認知症疾患治療病棟について説明します。ここでは、生活機能回復訓練をとっており、4時間以上/日のQOL支援が必要であるという中、活動を行っています。集団で行える活動であり、皆が楽しんで行える活動をモットーに、ひと月ペースで回るくらいの活動数にて提供しています。音楽療法・カラオケなどの発声に着目した活動、塗り絵・知的プリントなどの脳トレに着目した活動、ボウリング・わなげなどの体を使った活動…。まだまだありますが、それぞれ目的別に分け、「皆は楽しんでいるが、実はそこには様々な目的やねらいがあるんだ!」といった観点から活動を実施しています。

私のいる病棟は認知症病棟のなで、真新しいものばかり!というわけにもいかない為、慣れ親しんだ活動の合間にピリッとスパイスを加えるような形で新活動をやっています。これが評判良く、「昨日の〇〇ゲーム面白かった」「はじめてのゲーム何て言うの?」と少しずつ興味を抱いてくれています。また、OTRになってからの自分目標として、「1日ひと笑い」というものを実行しています。これは、認知症の方が殆どなのですが、病棟内で生活している方は、どうしても「笑顔」の少ない(笑う機会の減少)日々を送っています。そこで、活動に参加している方、そうでない方を含めこちらが出向いて、お話ししたり、リアクションをとったり…みんなが、1日1回は「ワハハ」と笑えるような病棟にしたいと、6年目経った今でも継続中です。自分自身一番嬉しい瞬間は、普段病棟内で勤務し、活動を行っていくうちに、1人また1人と自分の周りにギャラリーができ、「あんた、よう働きよるね」「昨日顔見せんかったが、さみしかったよ」等と自分の存在や所在を心配してくれる、また労ってくれる方が増えてきたことです。この瞬間が嬉しくて、また明日も頑張ろうといった活力になります。

最後に、写真にも掲載していますが、当院は8月より新たな建物が敷地内に完成し、本格的に大規模デイケア・通所リハがスタートいたしました。当院や当デイケアなどを活用しながら在宅支援などのバックアップも兼ねて、心身の状態も充実させ、さらには地域社会に貢献するといった大きな目標を掲げています。

今後、今まで以上に進化した住田病院で、自分自身様々な経験を糧に、また様々な課題を胸に大海原を突き進んでいきたいと思えます。



介護老人保健施設 岩木大佐

介護老人保健施設桜丘の岩木です。

当施設は、小倉北区に位置し入居48棟・ショート2床・デイケア60名・訪問リハからなり、PT1・OT4・ST1名の計6名で行っております。リハスタッフは、とても仲良く雰囲気の良い職場であり、地域包括ケアを念頭に置き日々全力で職務に励んでおります。また、プライベートでも定期にお酒を酌み交わし、「リハ室は家族」を合言葉に楽しく過ごしています。この写真は、同じグループのリハスタッフと合同で歓迎会をしている様子です。（中央の男前が私です。）



私は当施設に就職して5年目になり、現在は、デイケアと訪問リハビリを担当しています。「1日1回以上患者様を笑顔にする」を目標に、時にはお尻を振り踊りながら自分を作業の道具の一部として仕事をしています。

この4年を振り返って忘れられないエピソードがあります。私が担当したデイケアの利用者様の通夜での出来事です。ご家族様から「祭壇に使っている写真は亡くなる前の最後の誕生日の記念に、デイケアから頂いたものを使わせてもらいました。幾つかの候補の中で一番自然な母らしい笑顔がでていたので・・・」というお話がありました。この言葉を聞いた時、私の中で色々な思いが頭を過りました。

日々何気なくリハビリを通して関わっている利用者様にベストを尽くしているか？人生の最後に関わる気持ちで仕事をしているか？身体機能だけでなく利用者様のその人らしさ・生活を見つめているか？そう自分自身に問かけると涙が止まりませんでした。次の日、朝礼でこの出来事を伝え、皆で考え初心に戻ったことがありました。慌ただしい毎日の中で見失いかけていたこと、見過ごしてしまっていた本当に大切なことを私は利用者様から教えて頂きました。これからも、患者様から多くを学び「初心を忘れず日々成長していけるOT」として頑張っていきたいと思っています。

福岡リハビリテーション病院 中野美澄

寺沢病院の山野理恵さんよりリレーのバトンを受け取りました福岡リハビリテーション病院の中野美澄です。山野さんとは、4年前に研修会で知り合い、その後飲みニケーションしながらOTのこと、お互いのプライベートなことを語り合ってきました。今後もこの関係を大切にしていきたいと思っています。

それでは、まず最初に私の勤める福岡リハビリテーション病院の紹介をさせていただきます。福岡市内の西の山側に位置し、リハスタッフはPT45名、OT30名、ST7名の計82名です。私自身は、回復期病棟に属しており、回復期病棟60床に対し、OT15名で、PTとのチーム制で患者様を担当し、毎日充実したリハビリテーションサービスを提供しています。写真は、作業療法に対し熱い信念をもち、近くで私を支えてくれているチームメンバーの2人です。私は指導者の立場ですが、彼らから学ぶこともとても多くあります。回復期病棟では、決められた期間の中で機能・生活動作能力の向上、人生の再構築を支援することが求められています。その中で作業療法士が専門性をもってアプローチしていかなければならず、それにはまず「その人自身と向き合うこと」が重要と考えます。ことば・態度・表情やその人生の背景を分析し、追求していく努力をし続けることがその第一歩なのではないでしょうか？そのことは、私たちの日々の生活の中での人との関わりでも同じですね。



さて、私の最近の話題といえば、このたび沖縄の久米島でスキューバダイビング100本目を迎えました。ダイビングを通して得た海、そこに生きる生物、人々との出会いは、私の視野を広く、感性を豊かにし、人生に色どりを与えてくれます。これからもずっと続けていきたい趣味のひとつです。ダイビングに少しでも興味がある方は挑戦してみたいはかがでしょうか？想像もつかない世界があなたを待っていますよ！

次回は、たたらリハビリテーション病院の川野美紀さんにバトンを渡します。よろしくお祈りします♪

公益社団法人福岡県作業療法協会創立30周年式典レポート

福岡リハビリテーション病院 作業療法士 黒木 清孝

平成24年9月29日(土)に公益社団法人福岡県作業療法協会創立30周年記念式典が福岡市博多区の八仙閣で開催されました。台風による悪天候の影響も懸念されましたが、式典実行委員の日ごろの行いの賜物でしょうか？当日は雨・風共に落ち着いており、創立30周年を天からも祝ってくれているかのように感じました。

記念講演会では、「脳トレ(ゲームソフト)」で著名な東北大学加齢医学研究所教授の川島隆太先生をお招きし、「脳を知り、脳を育み、脳を鍛える」というテーマで講演して頂きました。公演は、グリム童話や世阿弥の風姿花伝から始まり、スマートエイジングや、脳を鍛える方法などをお話しされ、作業療法への活用法なども我々の臨床の大きなヒントになるようなアドバイスも頂きました。時には笑いも交えながら、最初から最後まで全く飽きさせない大盛況の講演でした。

記念式典では、会長挨拶をはじめ、来賓祝辞・感謝状贈呈・祝電披露等と進行し、多くの重鎮の先生方にお言葉を頂きました。舞台上の著名な先生方を遠目に見ながら、30周年という歴史の中で、作業療法の礎を築き、そして我々若手作業療法士の道しるべとなってきていることを改めて感じました。我々も何十年か後に胸を張って作業療法の魂を後輩たちに伝えていければと思います。

記念祝賀会では、会長挨拶や来賓祝辞・祝杯・祝宴、アトラクションが行われました。来賓祝辞では、日本作業療法士協会中村春基会長にも参列して頂き、ご挨拶を頂きました。祝杯後は、立食パーティー型で、積極的な交流や意見交換が行われました。更に祝宴・アトラクションによる太鼓や余興オーティーボーイズ(ウォーターボーイズ?詳しくは記念誌に...)にも後押しされながら大いに盛り上がり、盛況裡に30周年記念式典は幕を閉じました。次の節目は40周年です。10年後の私ははたしてどんな作業療法士になっているのでしょうか・・・



“協会設立30周年記念誌” 会員施設の紹介原稿を募集します！

会員各位

本協会では今年度末に標記の記念誌を発刊する予定です。つきましては会員在籍の施設毎に記念誌掲載用の原稿を頂きたいようお願いする次第です。なお、掲載に係る費用は発生いたしません。記念誌は県協会会員および関連諸機関へ配布されます。

勝手ながら原稿締め切りは12月末日、記念誌の構成案および執筆内容は下記の通りです。各施設OT部門の代表者におかれましては原稿の取りまとめ等、ご協力の程よろしくお願いいたします。

記

1. 記念誌構成（案）約100ページ

1	挨拶	会長
2	祝辞	26法人・施設
3	式典紹介	プログラム
		祝電・来賓・出席者一覧
		式典を振り返って
4	沿革	協会の歩みを思い出の写真とともに紹介する 資料集:会員数変移, 現在の組織図, 事業・活動概要, 歴代理事など
5	会員施設紹介	県下の会員在籍施設の紹介 (H24.3現在 531施設)
6	あとがき	

2. 原稿締切 平成24年12月31日

3. 内容および方法

- 1) 掲載依頼書を福岡県作業療法協会ホームページからダウンロードしてください。
(TOPページ→会員の方へ→News (会員用) からダウンロードできます)
- 2) 掲載依頼書に以下の内容をご記載のうえ送付してください。
 - ①施設情報:施設名 (部署名まで), 住所, 電話番号, 紹介したい作業療法場面, スタッフあるいは施設の写真を1枚
 - ②未来のOTにひとこと:OTの素晴らしさが伝わる一言 (45字まで) をお添えください。
文例:「作業療法で日々発見! あなたのいいところ」
 - ③原稿書式は問いません。掲載依頼書を下記E-mailアドレスまで送付ください。

4. 問い合わせ・原稿送付先

公益社団法人福岡県作業療法協会 事務所
〒802-0816 福岡県北九州市小倉南区若園2丁目6-21ルミエール若宮101号
TEL 093-952-7587 FAX 093-953-6287
E-mail 30th.kinenshi.ot@gmail.com

以上

2012年10月2日

公益社団法人 福岡県作業療法協会
公益法人化および協会設立30周年記念誌
施設紹介掲載依頼書（見本）※ホームページよりダウンロードしてください

公益社団法人 福岡県作業療法協会
30周年記念誌編纂委員会 御中

標記の記念誌に、以下の内容について掲載を希望いたします。

1	法人・施設名	
2	住 所	
3	電話番号	
4	<u>未来のOTに</u> <u>ひとこと</u>	
5	OT代表者氏名	
6	連絡事項	

※1～5は必ず記載してください。なお、掲載するのは1～4と写真1枚です。

写真添付欄（作業療法場面，スタッフあるいは施設の写真を1枚添付してください。）

第17回福岡県作業療法学会の開催及び一般演題募集のご案内

未来がつながる作業療法 ～集い，語り合おう～

下記の如く，第17回福岡県作業療法学会が開催されます。今年度は筑豊ブロックの担当により，テーマを「未来がつながる作業療法 ～集い，語り合おう～」とし，現在，開催に向けて準備を進めております。

つきましては，多数の皆様のご参加をお待ちしております。また，一般演題におきましても，日頃の学術研鑽の発表の場として積極的に応募して下さいますことを期待しております。

(学術部担当理事 丹羽 敦／学会準備委員長 松本剛史)

日 程：平成25年3月9日（土）13時開会（受付12時～），10日（日）15時閉会

テーマ：未来がつながる作業療法 ～集い，語り合おう～

会 場：イイツカコミュニティセンター 飯塚市飯塚14番67号

主 催：公益社団法人 福岡県作業療法協会

後 援：飯塚市

3月9日（土）

■一般演題（口述・ポスター）

■教育セミナー

●身障：講師 藤森一博（茅ヶ崎新北陵病院，認定作業療法士）

●老年：講師 松田 均（アクトパコおもちゃとりハビリ研究所 代表，認定作業療法士）

●精神：講師 西上忠臣（NPO法人ちゃんくす 代表，認定作業療法士）

3月10日（日）

■基調講演：講師 志井田太一（福岡県作業療法協会会長）

■モーニングセミナー：教育セミナーの講師にもご参加いただき，「未来がつながる作業療法」について，皆で，集い，語り合います。

■一般演題（口述・ポスター）

■市民公開講座：講師 越智須美子

※講師は若年性認知症を患った夫への介護体験を描いた映画「明日の記憶」（渡辺謙主演）のモデルになった方です。

*会員の皆様には，既に演題募集要項を送付済みですが，再送の希望者には演題募集要項をメールで添付致します。件名に「一般演題募集要項希望」，本文に「施設名」，「氏名」，「協会会員番号」を記載して，下記アドレスまでお問い合わせ下さい。

尚，演題申し込み締め切りは11月30日（金），抄録締め切りを12月14日（金）としています。たくさんの方の発表申し込みお待ちしております。

学会事務局E-mail：chikuho.ot@gmail.com

西日本国際福祉機器展2012展示ブース出展のご案内

公益社団法人福岡県作業療法協会企画委員会

さて、今年度も西日本国際福祉機器展におきまして、公益社団法人福岡県作業療法協会より展示ブースへの出展を行うこととなりました。作業療法の啓発として市民や各団体にアピールすべく、公益社団法人福岡県作業療法協会員よりボランティアを募り活発な活動にしたいと考えています。お誘いあわせの上こぞってご参加ください。参加案内・申込は全協会員へ発送されますのでお見逃しなく！ちょっと見に来るだけでも大歓迎です！

開催日時：平成24年11月9日（金）～平成23年11月11日（日）

10:00～17:00（ボランティアは9:30～17:00）

*半日、1日だけでもお手伝いいただければ助かります。

*ボランティアでご参加の方はなるべく福祉機器展を見学できるよう手配いたします。

場所：西日本総合展示場 新館

内容：会場のブースにて作業療法の紹介

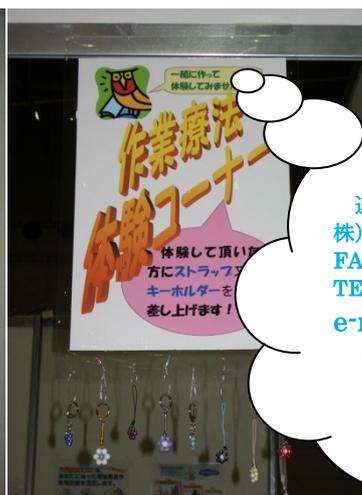
・DVD、パンフレット、パネル、チラシ等を使った作業療法紹介

・作業療法（アクティビティ）体験など

*キーホルダーやストラップを作る予定です。（未定）



こんなこと
やってます!



連絡先
株) シダー本社 担当: 佐藤 稔
FAX: 093-513-2601
TEL: 093-513-2600
e-mail:
satou@cedar-web.com

福岡県作業療法協会ホームページリニューアルのお知らせ！

広報部よりお知らせです。編集後記では度々触れていたのですが、8月24日よりリニューアルしたホームページがついに公開されました。リニューアルに伴い、コンテンツは「一般の方へ」、「作業療法士を目指す方へ」、「会員の方へ」と見やすく整理されています。

「一般の方へ」は作業療法を利用したい方、または作業療法に興味のある方を対象に作業療法の説明、公開講座のお知らせ、患者様からの作業療法体験記などを掲載し、「作業療法士を目指す方へ」は進路に悩む中学生、高校生を対象に、新人～中堅作業療法士からのメッセージ、作業療法に関するQ&Aを掲載しています。そして「会員の方へ」は福岡県作業療法協会会員を対象に、研修会情報を中心に保健情報などのトピックスなどを掲載しています。まだ、一部工事中のコンテンツもありますが、今後、より多くの一般の方に作業療法を知ってもらい、また会員の方には最新の情報を随時送り届けられるようなホームページにしていきたいと思えます。

今回は、「作業療法を目指す方へ」のコンテンツの中の「作業療法体験記（学生へのメッセージ編）」を紹介いたします。

～ 人生を創るリハビリテーション ～



株式会社ケアプラネッツ 代表取締役 葉山 靖明

人の持つ“最もハイクラスな優しさ”をもって、自分の生涯の職業としたい者は、作業療法士になるべきだ。

病や怪我によって、悲しくも強さを忘れた患者の新たな人生を、今まで以上に強く、誇りを持たせ、共に歩いてゆく医療職を探しているのであれば、作業療法士以外には私には頭には浮かばない。

私がそう思う理由を今から述べる。

平成18年、40歳の冬。福岡市中洲川端の専門学校。
会計学講師であった私は、会議中に倒れた。
脳内出血という病に伏し、右半身が麻痺となった。
福岡県福津市の病院に入院し、すぐにリハビリテーションが始まった。

平行棒に沿って歩く練習をする「理学療法士」
口で話す練習をする「言語聴覚士」
そして、生活の動作（作業）の練習を一緒にする「作業療法士」
生活の動作、つまり「作業」というのは、例えば「料理する」であった。
リハビリは「辛く苦しい訓練」というイメージを持っていた私は驚いた。
なんと、「料理する」がリハビリなのであった……。

私 : 「毎日々々、訓練ばかりじゃ面白くないやん。なんか面白いことしよ！」

作業療法士 : 「そうですね、病院の中で出来ることならいいですよ。」

私 : 「何でもいいん？」

作業療法士 : 「はい。いいですよ！」

私 : 「じゃあ、昔から得意だった和風パスタを作って食べろーや！」

作業療法士 : 「はい。もちろんいいですよ！一緒に料理して一緒に食べましょうか！！」

右手は麻痺のまま。だから、担当の女性の作業療法士と一緒に左手で計画、材料選択、準備、そして料理、配膳、完成！そして、生まれてはじめて左手のみで作った自家製和風パスタを作業療法士と共に食べた。

言うまでもなく、メチャクチャ美味しいのである！

キャンプのカレーが上手いのは苦労して作るその過程があるからだ。

今回は左手のみであったが「作業療法士」のサポートによってやっと和風パスタが出来た。その過程と達成感によって味が何倍にも増す。

左手のみで「作業」が出来た喜びが、生きる喜びにつながり、小さな自信も芽生え始めた。更に、「次はこうしよう！」「明日はこうしたらいいかも？」と少し先の未来も見えはじめた。

パスタ作りという作業療法は、私の肉体のみならず、精神をも再構築しはじめたのである。それが、「作業療法」という「リハビリテーション」であった。

それから1ヶ月が経過した5月の下旬、退院の日を迎えた。

私は、喜びと不安の入り交ざった気持だった。

作業療法士はこう言った。

「昔の葉山さんより、今の葉山さんの方が素敵です。」

しっかりと落ち着いた口調で。

昔の葉山は健常者、今の葉山は体に麻痺が残る状態。通常なら、「逆？」と言いたくなるくらいのフレーズである。

その優しき作業療法士は、病に立ち向かう今の葉山の方が、生きる様が、そして、一生懸命な精神が、何よりも素晴らしいと言葉で伝えてくれたのである。

その作業療法士と私は号泣した。

まだ残る麻痺をかかえ、病院の外で多くの困難に立ち向かって生きていかねばならない不安を抱えている私にとって、作業療法士のその言葉のプレゼントは、かけがえのない贈り物であった。

入院生活最後の日に作業療法士は「生きる」という作業を、教えてくれたのである。

退院後、1年して私は会社を設立し、福祉事業を行うようになった。今度は作業療法によって、私が町の幸せを作りたかったからである。

麻痺はまだ残っていたが、「作業療法士」が教えてくれた生き方を今も続けている。

私のように病院で、生き方や暮らし方や、そして楽しみ方さえもわからなくなった患者にそっと寄り添い、折れそうな心を熱き想いで支え、消えかけそうになった勇気をもう一度育み、元来有している生きる力を「作業」によって、もう一度、奮い立たせる「心と技」を持った医療職。

それが「作業療法士」なのである。

服を着る作業、歩く作業、楽しむ作業、語らう作業、料理する作業、パソコンを使う作業、それらひとつずつが「可能」となるには、作業療法士の心からのサポートが必要だ。病によって強さを見失った人間には「作業療法士」が必要なのである。

買い物に行く作業、植木の手入れをする作業、車に乗る作業、毛糸の編み物の作業、漬物を作る作業……。

それらの「作業」が出来ずに苦しんでいる人へ、リハビリテーションとして、作業をひとつひとつ「可能」にする作業療法士。「できない」から「できる」へ。

そして、その瞬間に患者に大きな笑顔が生まれる。それは生きている喜びなのである。

この地球上で最も尊い職業の一つである作業療法士。

繰り返す。

人の持つ“最もハイクラスな優しさ”をもって、自分の生涯の職業としたい者は、今から、作業療法士になるべきだ。

葉山靖明 略歴

1965年 豊前市に生まれる。

20代に南米、中近東を一人旅し、その後、会計学講師として日本で教壇に立つ。

2006年 会議中に左脳内出血発症。病院におけるリハビリの中で感動的な作業療法を体験する。

2007年 (株)ケアプラネッツ設立。

2008年 「デイサービスけやき通り 宗像」開設。

2011年 社会福祉法人夢のみずうみ村、理事。

2012年 「デイサービスけやき通り 古賀」開設。

全国での“作業療法を伝える”講演および執筆活動を継続中。

福岡県宗像市在住。

妻と3人の子どもと暮らす。

好きなことは、旅、ニール・ヤングの音楽、作業療法。

身体障害者手帳2級。

デイサービスけやき通りホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~keyakist/> .

著書に「だから、作業療法が大好きです！」など（写真）。



絶賛発売中！



革手芸材料専門店



皮革手芸材料・工具・染料・本
皮革…染色用・袋物用・衣料用
レザークラフト教室と講習会

作業療法・病院関係 特別割引料金

配達・迅速発送

<http://www.e-hands.jp>

福岡店 (092) 713-5088
〒810-0041 福岡市中央区大名1-5-2

あなたのための あなただけの車いすを作ります

本 社／福岡県福岡市中央区天神5-4-15
工場・営業本部／福岡県粕屋郡粕屋町大字仲原2305
営業所／山口・北九州市・佐賀・長崎・鹿児島・都城市

お問い合わせは TEL 092-938-2208 (営業本部)
作業療法士 瀧 美奈子



有限
会社

タキ商会

会員動向調査

調査期間 (2012.6.12~2012.9.11)

福岡県作業療法協会 会員数2,393名 (正会員2,186 自宅会員207名)

<入会>

今別府 あい	戸畑共立病院	: 2012年8月	花島 佑果	福岡青洲会病院	: 2012年8月
久富 晋平	済生会八幡総合病院	: 2012年8月	佐々木 優	福岡病院	: 2012年8月
田口 ともみ	戸畑けんわ病院	: 2012年6月	吉井 紗央里	岡部病院	: 2012年7月
平岡 愛花	萩原中央病院	: 2012年7月	木村 貴志	宗像水光会総合病院	: 2012年7月
宇土 沙希	北九州安部山公園病院	: 2012年8月	原 誠志	福岡新水巻病院	: 2012年8月
			森 一	自宅	: 2012年8月
弓場 健太	北九州安部山公園病院	: 2012年8月	西 佑果梨	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年5月
後藤 亜由美	北九州八幡東病院	: 2012年7月	宮崎 剛	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年5月
砂原 優子	北九州八幡東病院	: 2012年7月	伊藤 典洋	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年5月
土屋 美幸	北九州八幡東病院	: 2012年8月			
井上 翔平	北九州八幡東病院	: 2012年8月	東島 沙織	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年7月
吉野 香菜	北九州八幡東病院	: 2012年7月			
壇 拓真	大手町病院	: 2012年8月	窪田 有希	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年5月
今井 健人	小波瀬病院	: 2012年8月			
小林 章悟	小倉リハビリテーション病院	: 2012年6月	植村 吏恵	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年4月
多田 省吾	正和なみき病院	: 2012年8月	峰松 由香	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年5月
柴原 章	福岡新水巻病院	: 2012年7月			
矢野 寿	浅木病院	: 2012年7月	今村 静香	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年4月
村中 弘毅	浅木病院	: 2012年7月			
中原 幸子	北九州市立門司病院	: 2012年7月	原田 麗果	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年8月
内田 有紀	戸畑リハビリテーション病院	: 2012年7月			
			倉元 啓輔	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年8月
谷口 薫	戸畑リハビリテーション病院	: 2012年6月			
			三島 由布子	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年8月
笠原 周平	新行橋病院	: 2012年6月			
大島 翼	新行橋病院	: 2012年6月	安倍 敏文	香椎丘リハビリテーション病院	: 2012年8月
重村 優臣	新行橋病院	: 2012年6月			
柴田 薫	北九州市立総合療育センター	: 2012年7月	野口 智史	福岡和白病院	: 2012年6月
			森野 宏利	福岡和白病院	: 2012年6月
松尾 恵美	サンフラワーズ北九州	: 2012年6月	長谷 昭史	福岡和白病院	: 2012年7月
			嶋川 愛佳	福岡和白病院	: 2012年7月
森下 遥香	遠賀中間医師会おかがき病院	: 2012年4月	福丸 和嵩	福岡和白病院	: 2012年8月
			北里 恵美	福岡和白病院	: 2012年7月
小林 加奈	介護老人保健施設 あやめの里	: 2012年6月	水崎 裕子	福岡リハビリテーション病院	: 2012年7月
渡邊 亜沙美	おさゆきリハビリテーション病院	: 2012年6月	関 友美	福岡リハビリテーション病院	: 2012年8月
小柳 康裕	北九州中央病院	: 2012年6月	山部 雅仁	シーサイド病院	: 2012年6月
山田 千尋	新栄会病院	: 2012年8月	野見山 智恵	シーサイド病院	: 2012年6月
石井 道子	デイサービスけやき通り	: 2012年6月	白水 千尋	博愛会病院	: 2012年7月
			西村 美香	博愛会病院	: 2012年8月
増原 美紀	デイサービスけやき通り	: 2012年6月	中野 周幸	藤川メディケアクリニック	: 2012年5月
中村 裕美	デイサービスけやき通り古賀	: 2012年6月	真名井 朋子	入江内科小児科医院	: 2012年9月
			三苫 達哉	糸島医師会病院	: 2012年6月
井上 順一	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター	: 2012年8月	三苫 佳世子	糸島医師会病院	: 2012年8月
			假屋 知未	糸島医師会病院	: 2012年6月
大平 英史	緑風会 水戸病院	: 2012年8月	百武 浩	春日病院	: 2012年4月

大庭 陽子	春日病院	: 2012年7月	井上 美幸	大牟田天領病院	: 2012年7月
黒江 真麻	夫婦石病院	: 2012年6月	萩原 園子	自宅	: 2012年6月
後藤 真子	夫婦石病院	: 2012年7月	< 県内移動 >		
高木 詩織	那珂川病院	: 2012年7月	山崎 有佳理	ほうらい山荘	: 2012年4月
釘本 寛子	福岡徳洲会病院	: 2012年8月	(介護保険総合ケアセンターいずみの園より)		
豊丸 雅恵	福岡保養院	: 2012年7月	吉村 朋子	住田病院	: 2012年5月
森本 夕貴	福岡記念病院	: 2012年5月	(堤病院より)		
山本 晶子	みなかぜ病院	: 2012年6月	沖 さゆり	京町病院	: 2012年4月
高橋 知世	川添記念病院	: 2012年5月	(大手町病院より)		
照 寛人	介護老人保健施設 からぎステーション	: 2012年5月	太田 吏香	介護老人保健施設エメロード 三萩野	: 2012年9月
田上 愛子	宮田病院	: 2012年7月	(松井病院より)		
甲斐 蘭和	宮田病院	: 2012年6月	永野 由理	金刀比羅心療所	: 2012年4月
木藤 千晶	宮田病院	: 2012年6月	(牧山中央病院より)		
本田 ひかる	いのり若宮医院	: 2012年6月	吉川 聖人	北九州小倉病院	: 2012年6月
喜多 玲子	介護老人保健施設 シツバークケア嘉穂	: 2012年5月	(北九州八幡東病院より)		
久保田 あかり	田川新生病院	: 2012年5月	藤本 百合	介護老人保健施設 桜丘	: 2012年4月
上田 佳恵	久留米大学医療センター	: 2012年7月	(原病院より)		
原口 正邦	久留米大学医療センター	: 2012年7月	今村 恵美	大手町在宅ケアセンター 大手町診療所	: 2012年4月
枝松 知子	久留米大学病院 リハビリテ ーション部	: 2012年8月	(自宅より)		
宮田 浩紀	高良台リハビリテーション病院	: 2012年6月	宮本 香織	アクティブ応援館かめSUN	: 2012年9月
長野 剛	高良台リハビリテーション病院	: 2012年6月	(自宅より)		
坂本 香織	高良台リハビリテーション病院	: 2012年7月	上田 幸奈	北九州津屋崎病院	: 2012年3月
宮野 一也	高良台リハビリテーション病院	: 2012年8月	(大手町病院より)		
才津 慶子	久留米リハビリテーション病院	: 2012年7月	中村 大輔	若杉病院	: 2012年7月
武岡 絢花	久留米リハビリテーション病院	: 2012年6月	(自宅より)		
倉ノ下 七享	八女リハビリ病院	: 2012年8月	中村 尚美	介護老人保健施設宗像アコール	: 2012年8月
木村 有希	八女リハビリ病院	: 2012年8月	(介護老人保健施設 清涼苑より)		
濱田 愛子	柳川療育センター	: 2012年6月	坂口 聡子	コールメディカルクリニック福岡	: 2012年9月
澤村 亜希子	柳川療育センター	: 2012年6月	(自宅より)		
池田 康德	大牟田共立病院	: 2012年6月	高木 雄作	老健センターささおか	: 2011年4月
猿渡 未来	安本病院	: 2012年7月	(博愛会病院より)		
木野 愛里	植田病院	: 2012年7月	釘崎 大樹	伊都の丘病院	: 2012年6月
山本 裕大	済生会大牟田病院	: 2012年7月	(伊都の丘病院デイケアより)		
川崎 淳平	田主丸中央病院	: 2012年5月	田浦 奈緒美	介護老人保健施設 M・T奈多ケア院	: 2012年4月
堀下 誉晃	介護老人保健施設 舞風台	: 2012年6月	(グッドタイムホームV・山王公園より)		
古賀 智子	菅原病院	: 2012年6月	森松 寿和子	那珂川病院	: 2012年7月
加瀬 順一	朝倉記念病院	: 2012年6月	(社会福祉法人慶和会 まどか園より)		
中垣 友里	介護老人保健施設 城山荘	: 2012年7月	宇田 陽一	聖峰会マリン病院	: 2012年4月
月足 成児	新船小屋病院	: 2012年6月	(福岡豊栄会病院より)		
岸 絵里子	聖マリア病院	: 2012年7月	梶山 晴美	在宅リハビリ訪問看護 ステーションTOMO	: 2012年7月
			(城戸医院より)		
			加瀬 繭子	福岡医師会訪問看護 ステーション中部	: 2012年8月
			(アイケア博多訪問看護ステーションより)		

若目田 里衣 吉村病院 : 2012年12月
(自宅より)

福岡 寿美香 牧病院 : 2012年4月
(介護老人保健施設 城山荘より)

宗 克磨 自宅 : 2012年8月
(社会福祉法人 こぐま福社会より)

湯浅 藍 自宅 : 2012年7月
(あおぞらの里和白訪問看護ステーションより)

浅上 初音 自宅 : 2012年5月
(筑紫南ヶ丘病院より)

上田 元紀 社会保険筑豊病院 : 2012年7月
(黒田整形外科医院より)

室岡 真弘 高木病院 : 2012年5月
(有明総合ケアセンターより)

牛嶋 絵里奈 川崎病院 : 2012年4月
(自宅より)

関 真由子 自宅 : 2012年4月
(古賀病院21より)

<退会者>

関 真吾 新行橋病院 : 2012年8月
(東京都:小金井リハビリテーション病院へ)

外山 貴明 安本病院 : 2012年8月
(北海道へ)

大森 歩 安本病院 : 2012年8月
(北海道へ)

藤崎 佑唯 自宅 : 2012年7月
(熊本県へ)

矢次 毅史 自宅 : 2012年6月
(佐賀県へ)

尾山 靖治 : 2012年8月

会員の皆様へ

これまで、会員の皆様の移動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という会員の要望もごございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙(異動届等)にその旨ご記入くださいますよう、よろしく願いいたします。



異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ (<http://www.fuku-ot.org/>)へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

福岡県作業療法協会のホームページがついに公開になりました。「近日公開！」と周囲に言い続けて半年経過していました・・・だいぶ見やすくなったと思いますが、もしご意見があればホームページ内の「お問い合わせフォーム(会員用)」から言っていただくと大変ありがたいです。コンテンツも旧ホームページに比べるとかなり増えています。なかでも是非見ていただきたいのが葉山さんとIさんの「作業療法体験記」です。一般向けに作ったコンテンツですが、我々作業療法士にも勇気と励ましを与えてくれる話を書いています。今号にも、少し紹介していますが、ホームページのほうものぞいてみてください！(S部員)